



来場者は一つひとつのブースに足を止め、質問をしたり、パンフレットを手に取ったりして、介護に関心を深めました



高齢者用医療保険「メディケア」や「メディケア・アドバンテージ」を扱っているHoken411.comの桐原正善さん



リビングトラストやエーストプランについて解説する佐野郁子弁護士と日本から訪米したお母さま



サンディエゴ在住のフォトグラファー、本村コーローさん。ポートレート写真撮影はお任せください



会場は立ち見が出るほどの盛況ぶり。詰めかけた約200名近くの来場者で終始賑わいを見せていました



「げんきホームケア」代表の増田修士さん。サンディエゴで提供している日英両語の訪問介護サービスを説明



「シニアビレッジさくら」創設者の高橋優子さん。ヒルクレストでシニアのための交流会を毎週水曜日に開催



老後や介護にまつわる日米会計の基礎知識をプロジェクターを使って解説する元会計士の高橋淑子さん

# アメリカで？ 日本で？ みんなの幸せのために今から考えよう 親の老後・私の老後 SDNN主催イベント盛大に開催

去る11月8日(日)、パシフィックビーチのBarnard Asian Pacific Language Academyにおいて「親の老後・私の老後について考えるイベント」が盛大に開催されました。このイベントは、サンディエゴ日系ネットワーク (SDNN) が主催したもので、同ネットワークは、SDのボランティア団体や非営利団体が日本人コミュニティの活性化や横のつながりを強化するために2013年に発足。この度のイベントは3回目となるもので、会場は詰めかけた約200名近くの来場者で終始賑わいを見せていました。

午後1時、愛絆会の藤井貴子さんの司会進行でイベントがスタート。シニアビレッジさくらの高橋優子さん、げんきホームケアの増田修士さん、そして、UPACの宮城扶貴子さんがサンディエゴで受けられるシニアサービスについてプロジェクターを使って壇上から解説。参加者はメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。

続いて、ソーシャルワーカーのコナーク美さん(呼び寄せ介護)、元会計士の高橋淑子さん(日米老後の会計基礎知識)、詩人の伊藤比呂美さん(遠距離介護)の3名のゲストスピーカーがそれぞれの体験談や介護に関する情報を紹介。異なる立場からのエピソードや興味深い話が繰り広げられ、参加者は時に爆笑し、時に共感し、目頭を熱くして湧きだす涙をハンカチで抑える姿も見受けられ、笑いあり、涙ありの充実した時間を過ごしました。そして、スピーカーの方々の囲みでの座談会では、活発な意見交換や質疑応答が行われました。

会場内には介護や老後に関するブースも設置され、来場者は一つひとつ足を止め、質問をしたり、パンフレットを手に取ったりして、それぞれのサービスに関心を深めていました。詩人の伊藤比呂美さん、コナーク美さんの書籍販売やサイン会も開催されました。また、日本行き往復航空券のサイレントオークションや、セラミックナイフ、フラワーバスケットなどが当たるラッフル抽選会も行われ、午後4時30分にイベントは盛況のうちに終了しました。



Farmers Insuranc Groupの吉野大樹さん、キミエ・ロビンソンさん(左)、マサコ・ウィッテンさん



日本から参加したベネッセチーム。日本の有料老人ホームや介護相談に関する力強い味方となります。左から横畠文美さん、寺田敦子さん、田中由佳さん



太平洋を何度も行き来して親を看取った詩人の伊藤比呂美さん。その体験を綴った「父の生きる」を昨年出版



UPACのシニアアウトリーチスペシャリスト宮城扶貴子さん。シニアを対象としたGeriatric Speciality Programを解説



ゲストスピーカーのそれぞれのエピソードや興味深い話に共感して、笑いあり、涙ありの充実した時間を過ごしました



シニア向けに訪問介護サービスを提供している「げんきホームケア」。SD発、日英両語対応。代表の増田修士さん



PFS Investment Inc.の金子ゆかさん。豊かな老後生活を送るために必要なリタイアメントプランを解説



SDNNメンバーからラッフル当選者に賞品を贈呈。セラミックナイフ、陶器、フラワーバスケット、チョコレート、オーガニック果物、ゴルフレッスン券、メモブック、等のCD、ポートレートセッションギフト券などのいろいろな賞品が当たりました



SDNNのメンバーで、この度のイベントの司会進行を担当した愛絆会の藤井貴子さん



SD 海軍病院に勤務するソーシャルワーカーのコナーク美さん。'08年に亡き母との共著「ダメージ・グッス」を出版



元会計士の高橋淑子さんを囲みでの座談会。現在、函館市に住んでいる義父母を介護するために日米を往復している。その経験をもとに日米の介護や老後に関する情報を具体的に数字を使って解説。活発な質疑応答が交わされました



「シニアビレッジさくら」では、シニアのための楽しい交流会「水曜会」を毎週開催。右は同会代表の優子さん



伊藤比呂美さんの座談会。太平洋をまたいで、父親の遠距離介護と看取りを詩人らしい独特なトークで展開



日本から両親を呼び寄せて介護し看取ったコナーク美さん。和やかな雰囲気の中でQ & Aも行われました



ゲストスピーカーとSDNNメンバーの記念撮影。SDNN参加団体は、愛絆会、JAMS-SD 日本人芸術家音楽家協会サンディエゴ、ぼーと会、San Diego Japan Bio Forum、SDJBAサンディエゴ日系ビジネス協会、SDJEN エスディー ジェン、SD-WISHの7団体。SDNN賛同団体は学習塾 Pi:k サンディエゴ校。この度の協賛団体はJAL、Union Bank、Hitachi Chemical、Tanabe Research Laboratories、地元日系メディア3社



サイレントオークションで見事、日本行き往復航空券を獲得した葛西祥子さん(左)とさゆりアールドさん